PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

02-296689

(43)Date of publication of application: 07.12.1990

(51)Int.Cl.

B65D 85/672 B65G 57/00

(21)Application number : 01-107002

(22)Date of filing:

26.04.1989

(71)Applicant: TAIYO YUDEN CO LTD

(72)Inventor: OOSHIMA GOSUKE

UMEZAWA KAZUYA

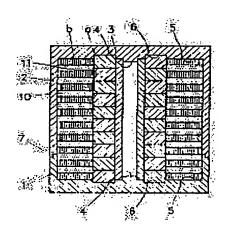
SHIBAZAKI SHOJI SASAZAWA KAZUO

(54) PANCAKE CONTAINING CASE

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent pancakes from slipping out between upper and lower spacers or tumbling down by vibration, etc., by a method wherein the pancakes are piled up in two or more stages, an axle is inserted through penetrated holes of reel cores of the pancakes, spacers having shock absorbing property are placed between magnetic tapes of the pancakes, and both ends of the core bar are fixed.

CONSTITUTION: Pancakes, each with a magnetic tape (b) wound around a reel core (a), are piled up in ten stages. When the pancakes are piled, at first, a core bar 3 is set upright on a corebar support 3 of a case member 1, and the reel cores (a) of the pancakes are put on the core-bar 3 one by one. Simultaneously, spacers 11 are placed between the magnetic tapes (b) of the pancakes. After the pancakes are piled up in the specified number of stages, another case member 2 is put on the case member 1 to connect them at a joint 7, and at the same time, the bar 3 is inserted into a core-bar support 4 of the case member 2 to support the bar.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

平2-296689 @ 公 開 特 許 公 報 (A)

Int. Cl. 3

識別配号

庁内整理番号

❸公開 平成2年(1990)12月7日

85/672 B 65 D B 65 G 57/00

7405-3E 8712-3F D

> 請求項の数 1 (全4頁) 審査請求 未請求

パンケーキケース収納体 60発明の名称

> 顧 平1-107002 ②特

願 平1(1989)4月26日 忽出

@発 嶋 悟 介 明 者 大 明 沢 也 何発 者 梅 崎 柴 個発 明 者 正 仍発 明 者 笹 沢 雄 る出 頭 太陽誘電株式会社 人

東京都台東区上野6丁目16番20号 東京都台東区上野6丁目16番20号

東京都台東区上野6丁目16番20号 太陽誘電株式会社内 太陽誘電株式会社内 太陽誘電株式会社内 太陽誘電株式会社内

東京都台東区上野6丁目16番20号

東京都台東区上野6丁目16番20号

34® 理 弁理士 北條 和由 人

1. 発明の名称

パンケーキケース収納件

2. 特許請求の範囲

想芯aに磁気テープトを発き込んだパンケー キdをケースに収納したものであって、 複数段 放み上げた上記パンケーキd、 d … の準心 a、 a…の貫通孔に引き通された芯棒3と、 上記パ ンケーキ d、 d … の磁気チープ b、 b … の間に 押入された短衝性を有するスペーサー10、 10 …と、互い嵌合されることによって各々上記芯 権3の両端を固定すると共に、上記パンケーキ d、 d … とスペーサ10、 10 … との機能体全 体を限うケースを形成する分離自在な一対のケ ース部材 1、 2とを有することを特徴とするパ ケーキケース収納体。 発明の評細な説明

3. 図面の面単な説明

[産業上の利用分野]

本頭側は、磨芯に磁気テープを巻き込んだバ ンケーキをケースに収納したケース収納件に関 t 5.

[従来の技術]

祖気テープは、一般に次のような工程を経て 製造される。 下途を施したポリエステルフィル ム等からなるペースの上に薄く磁性値料を喰布 し、鹽料中の溶剤が乾燥しないうちに、テーブ に一定の方向の磁界をかけて針状の磁性制を一 定の方向に配向させる。次に、上記磁気楽料を 乾燥した後、カレンダー工程で表面仕上げする。

このような工程を経て製造される磁気ナーブ は、 通常、 300~1500mm幅のシートで

この幅広のシートは、その後目的とする磁気 テープについて定められた所定の幅(3.81 ~12. 85mm) に裁断され、強芯に巻き付 けられる。この状態の磁気テープの発装体は、 パンケーキと一般に呼ばれている。

従来、このパンケーキを延頻、保管、線送す るときは、第2図で示すようなトレイ状のスペ ーサ8が用いられていた。 このスペーサ8は、

発抱スチャール等、 級衝作用のある材料で成形され、中央に強芯を保持する独芯保持部 I O を有し、中心と周囲の間に一段低くなった川部 B を有する。

パンケーキは、上記トレイ状のスペーサ8の上に載せた状態で何段か積み重ねられ、この状態で保管、旅送される。

【発明が解決しようとする無鑑】

上記のようなスペーサにパンケーキを報せた 状態で何段か積み重ねて加送する場合、 暖動等 により、上下のスペーサ8の間にずれが生じた り、 さらには崩れやすい。 上下のスペーサ8が ずれると、 その間の眩間から埃が入って 磁気チーブに付着する等、 磁気テーブに悪い影響を与 える。また、崩れ落ちた場合は、 衡量により、 磁気チーブの品質の低下を招く。

そして、実際に保管、増送する際は、上記のようなずれを生じないように慎重に取り扱わなければならないため、収扱いが難しいという欠点があった。

ーキ d、 d … がずれることない。 また、 緩衝性 のあるスペーサー1、 1 1 … により、 磁気テープ b に 段窓が生じることもなく、 外部の衝撃が 緩衝される。 これにより、 パンケーキ d、 d … を整然と 積み重ねた状態で安全に保管・維送することができる。

[実施例]

次に、図面を参照しながら、本発明の実施例について具体的に説明する。

既に述べた通り、 本館明によるバンケーキの 収納手段では、 2 つのケース部材 1、 2 と 芯棒 3 とスペーサ 1 1、 1 1 … が用いられる。

 本発明は、上紀従来のパンケーキの収納手段の問題点を解消することを目的とする。

[即題を解決するための手段]

[作 用]

上記パンケーキケース収納体では、 上記 心弾 3がパンケーキ d の 巻芯 a を上下に 貫通し た状態で固定しているため、 積み 重ねられたパンケ

関には、円形状の凹部8が形成され、その中央部にさらに一及低くなった円形状の凹部5が形成され、その中央部に後述する芯棒3を差し込んで支持するための凸状の心棒支持部4が形成されている。凹部8とその中心側の凹部6との段差は、パンケーキdの巻芯aと、その第3図において上下方向の中央に巻回された磁気ナーブbの段差分に相当する高さに形成されている。

他方のケース部材 2 は、 その深さが上記ケース部材 1 より深いこと、 上記ケース部材 1 の 駐手部7に 皮まり込むべき 継手部が上記ケース 部材 1 の 健手部の 段差と逆に なっていることを 除けば、上記ケース部材 1 と上下対称の形状を 行する。 従って、 このケース部材 2 では、 底面側が開口し、 天面側が閉じられ、 そこに 凹部 6、凹部 5 及び芯棒支持部 4 を有する。

 される凹部5から、ケース部材2の天面側に形成される凹部5までの高さは、パンケーキ d の格芯 a を数段 (第3 図では 1 0 段) 被みずねた高さに僅かな余裕を有する程度の寸法に設定されている。

.)

上記ケース部材 1、 2 は、 級衝性の高い例えば発泡成形プラスチック等の材料で形成するのが望ましい。 またその形状は、 図示のような四角間形の他、 六角間形や円筒形とすることもできる。

本郷3は、中空円住形の部材で、その尚端を上記ケース部材1、1の芯樽支持部4、4に以め込むことによって、各々のケース部材1、2の底面及び上面の中心部に立設される。そして、その長さは、第3図で示すように、2つのケース部材1、2を組み立てたとき、その両端が高ケース部材1、2の芯棒支持部4、4に丁度限まり込む長さとする。

スペーサートは、上記ケース部材 1、2と同様の緩衝性のある材料で形成された中心に関連

の芯棒支持部4に芯棒3を立設し、これにパンケーキdの巻芯aを順次版め込んでいく。 そして、同時に、各パンケーキd、d…の破気チーブb、b…の間に、上記スペーサー l、 1 1 …を挿入する。こうして所定の扱数のパンケーキd、d…を積み重ねた後、他方のケース部材2で最上記ケース部材1に重ねて、2 部材2の心臓を限め込んで支持する。

[発明の効果]

以上説明した通り、本卵明によれば、複数のパンケーキを芯棒3によりずれないよう保持した状態で一括して取り扱える。また、磁気テーブ b、 b … が、 緩衝性のあるスペーサー1、 1 1 で両側から挟まれるため、 衝撃により、 磁気テーブ b の 巻層間に 段差が生じたり、 品質が劣化することがなる。でかつ安全に行えるようになるという、優れた効果が得られる。

4. 図面の簡単な説明

孔12を有するドーナッ状のものである。 その厚さは、 独志 a と磁気テープ b の片側の段差の 2倍に相当するよう設定され、外径は、 上記ケース部材 1、 2 の内径寸独に対応している。 さらに、 その内径は、 パンケーキ d の 発芯 a の外径に対応している。

羽1回で示したスペーサ 1 1 は、 平坦なドーナッ状のものであるが、 例えば、 第 4 図で示すように、 弾性部材により、 波状の凹凸を形成することにより、 さらに緩衝性を高めることもできる。 この波状の凹凸は、 郭 4 図の場合スペーサ 1 1 の 周方向に沿って形成されているが、 放射方向に形成したり、 径方向及びこれと平行な方向に形成することもできる。

第3図に上記部材を用いて本発明によるパンケーキの収納体を構成した例が示されている。 すなわち、ここでは、 巻芯 a に 磁気 テープ b を 巻き込んだパンケーキ d、 d … が 1 0 段 種 み 蛋 ねられているが、このようにパンケーキ d、 d … を 彼 み 重ねる 原は、 まず 一 方のケース 部 材 1

第1図は、本発明のパンケーキ収納体の使用部材の例を示す分解斜視図、第2図は、従来のスペーサを示す斜視図、第3図は、本発明の実施例を示す経断側面図、第4図は、本発明で使用するスペーサの他の例を示す半断面斜視図である。

1、2…ケース部材 3…芯棒 4…芯棒 5
部 11…スペーサ a…パンケーキの登出
b…パンケーキの磁気テーブ d…パンケーキ 特許出願人 太陽誘電株式会社 代 迎 人 弁理士 北條 和由

特閒平2-296689(4)

